

平成18年1月6日
北海道電力株式会社

定期検査中の泊発電所1号機で確認された非常用排気筒のひび割れについて

泊発電所1号機(加圧水型軽水炉、定格電気出力57万9千キロワット)は、平成17年12月26日から第13回定期検査を実施していますが、非常用排気筒の点検を実施した結果、本日、補強材溶接部付近に貫通したひび割れを3箇所(最大で約14cm)確認しました。

なお、非常用排気筒は事故時に使用するための設備であり、通常時は使用していません。

また、当該部位は原子炉建屋内の放射線管理区域内であることから、ひび割れ部から空気が漏れたとしても、直接放射線管理区域外に放出されることはありません。

今後、ひび割れ部の切り出しを行い、詳細な調査を実施して原因究明を行います。

この事象による環境への放射能の影響はありません。

また、本件については、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき経済産業省に、「安全協定」に基づき北海道及び地元四カ町村に連絡済です。

< 参考 >

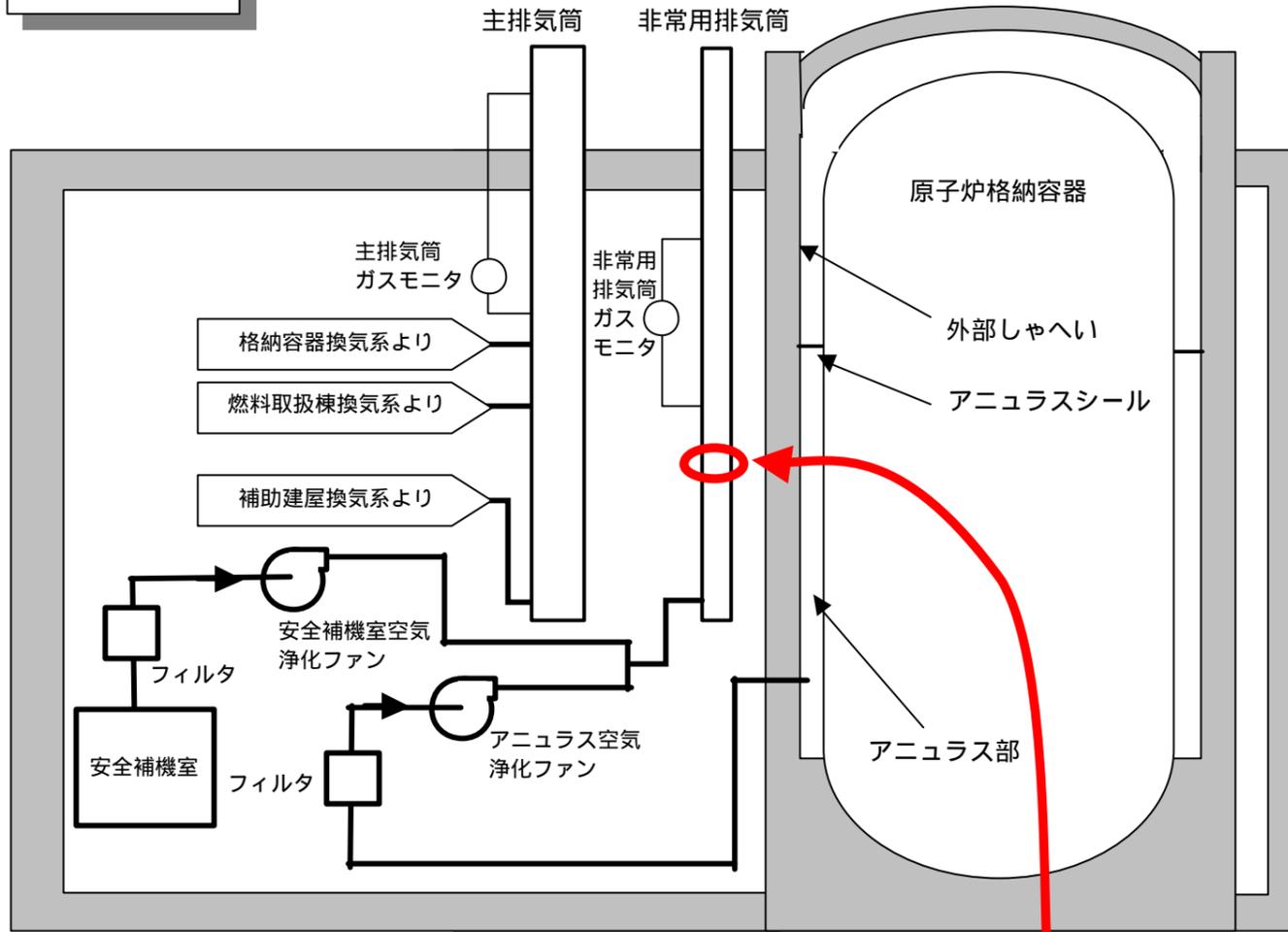
「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」及び「泊発電所に関する通報連絡及び公表基準」に基づく報告対象ではありませんが、同時に行った点検で主排気筒にも6箇所のひび割れ(うち5箇所については貫通を確認)を確認しています。

< 添付資料 >

- ・ 泊発電所1号機 非常用排気筒のひび割れについて

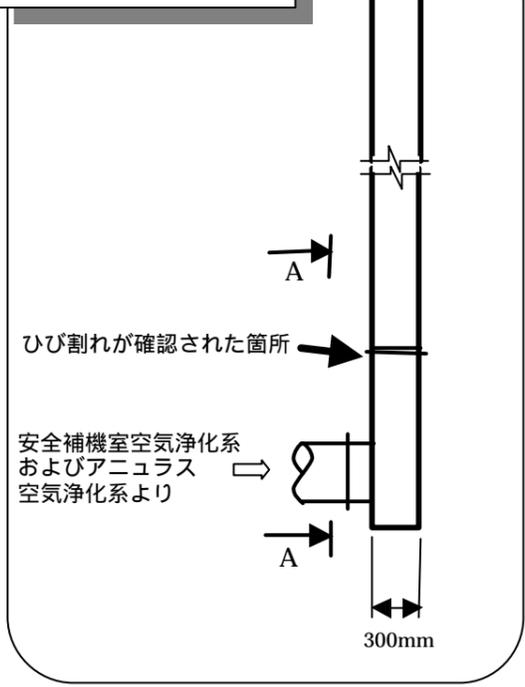
泊発電所 1号機 非常用排気筒のひび割れについて

概略系統図



ひび割れが確認された箇所

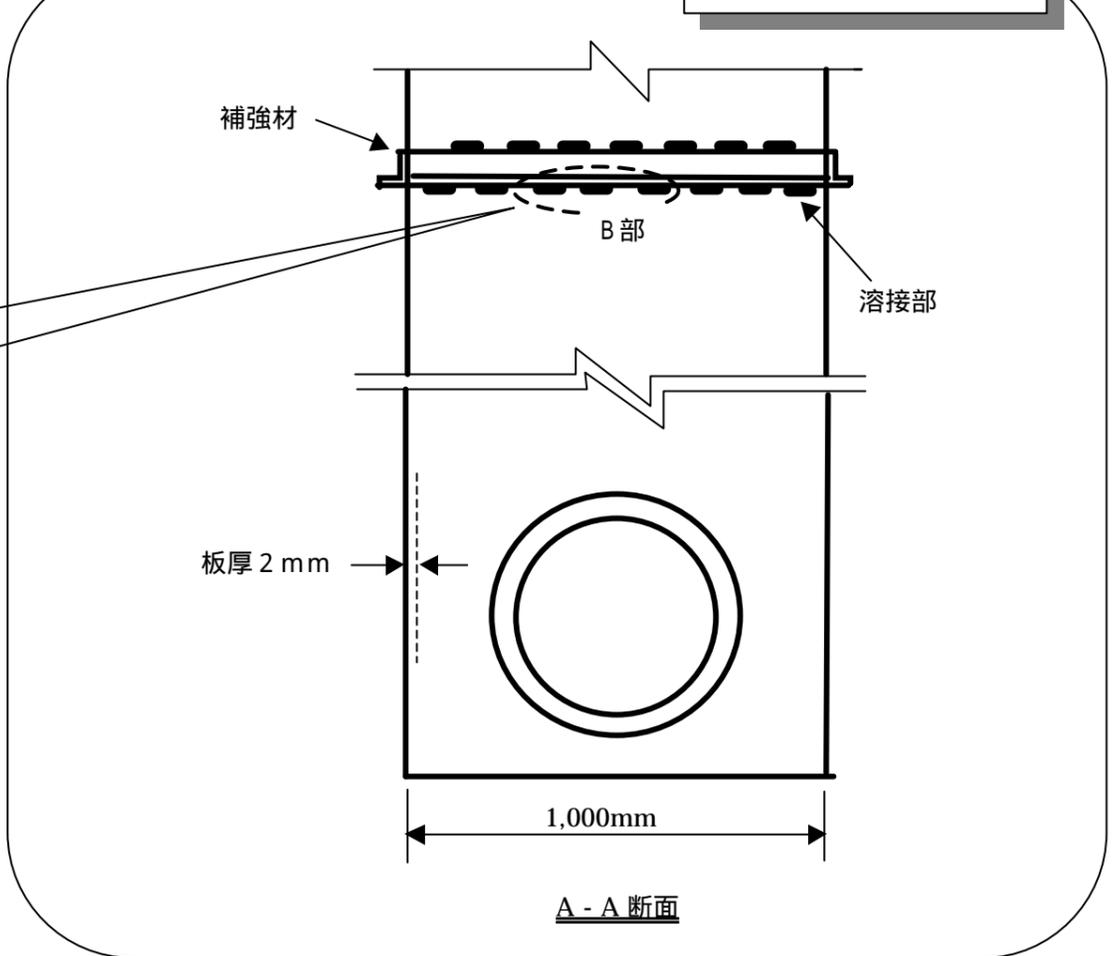
非常用排気筒ひび割れ発生場所



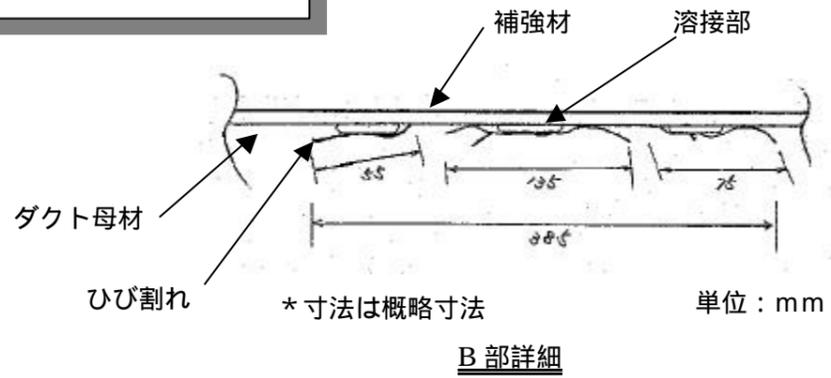
仕様

1号機非常用排気筒
 地上高さ 57.6m
 (標高高さ67.6m)
 内径(頂部)0.3×1.5m
 内径(脚部)0.3×1.0m
 材料 ステンレス鋼
 厚さ 2.0mm

非常用排気筒発生場所拡大図



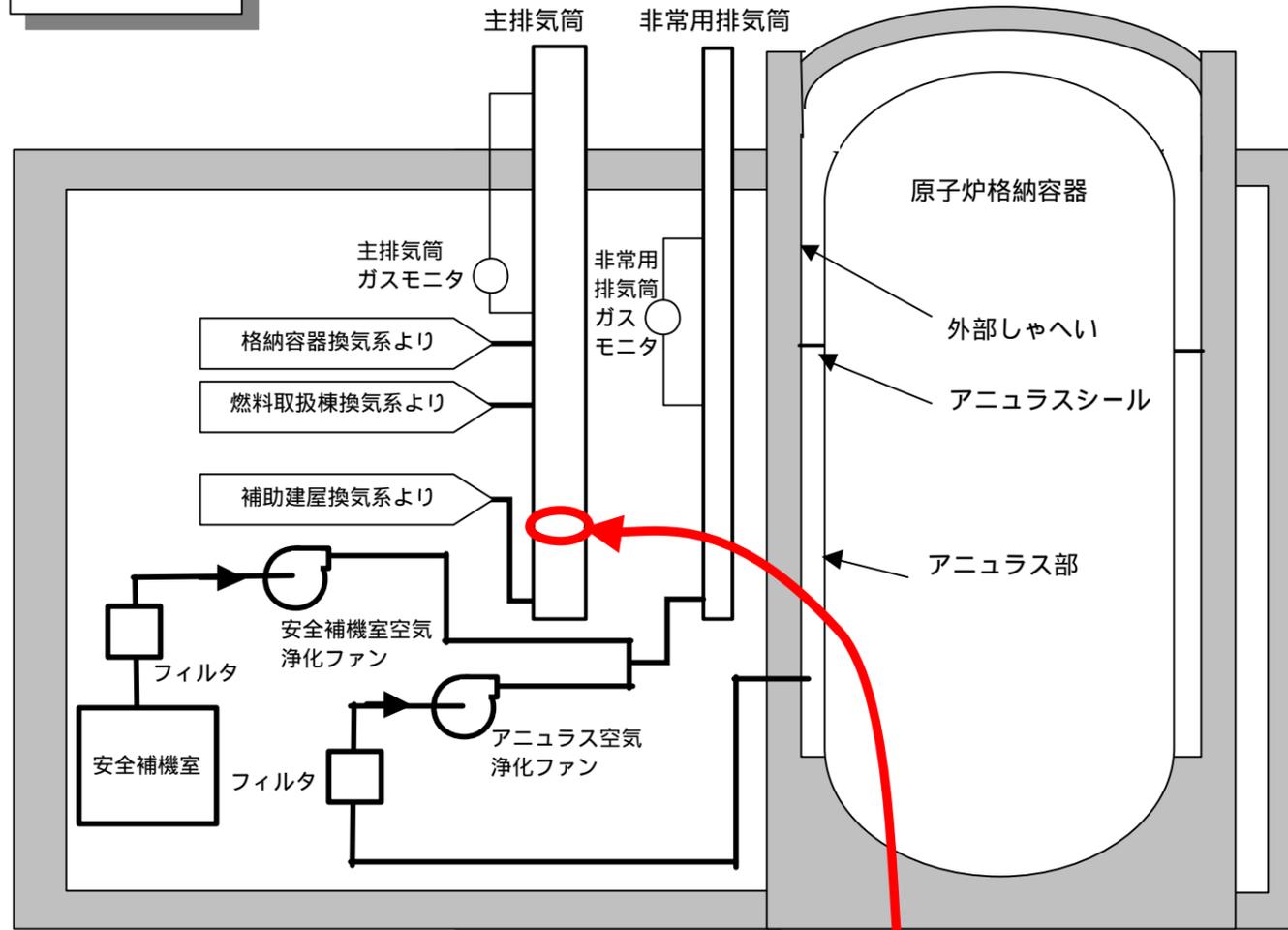
非常用排気筒状況図



泊発電所 1号機 主排気筒のひび割れについて

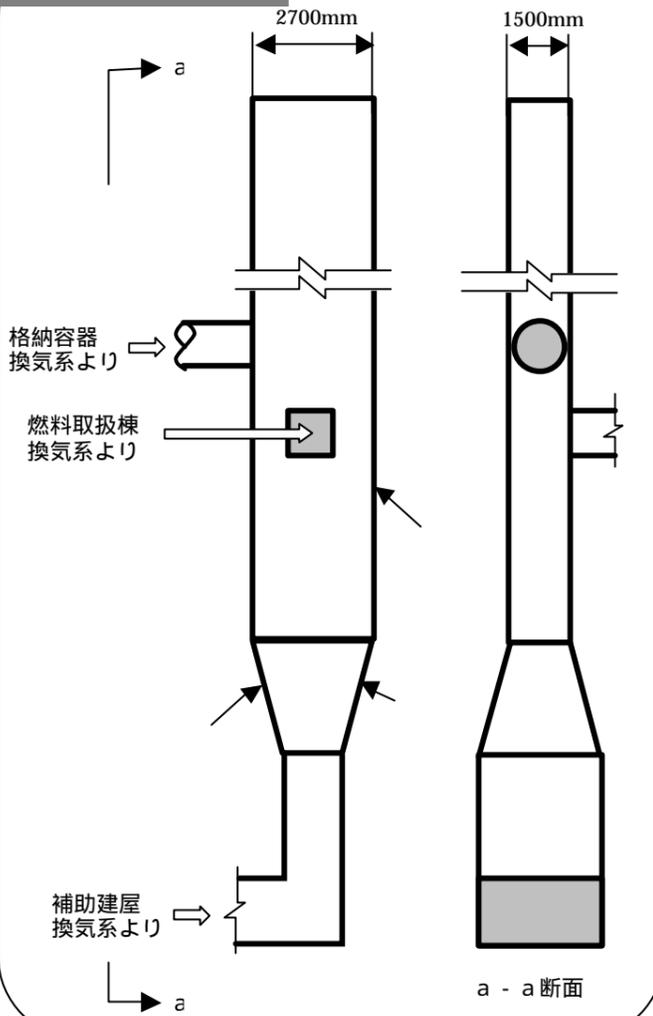
参 考

概略系統図

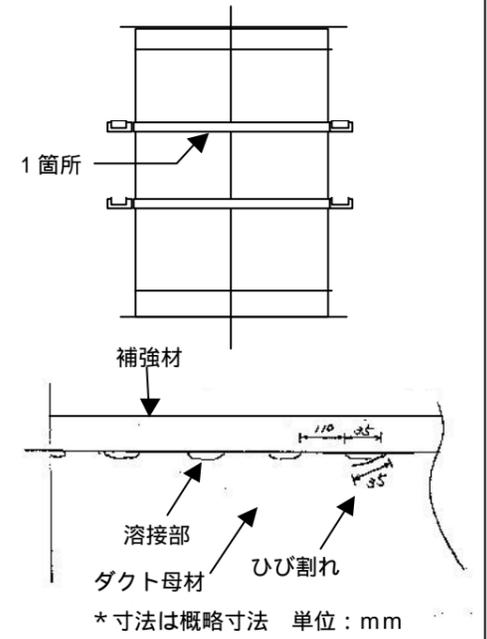


ひび割れが確認された箇所

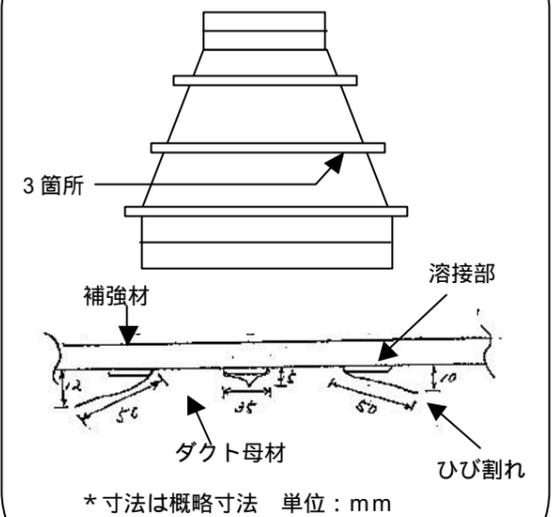
主排気筒 ひび割れ発生場所



ひび割れ状況図



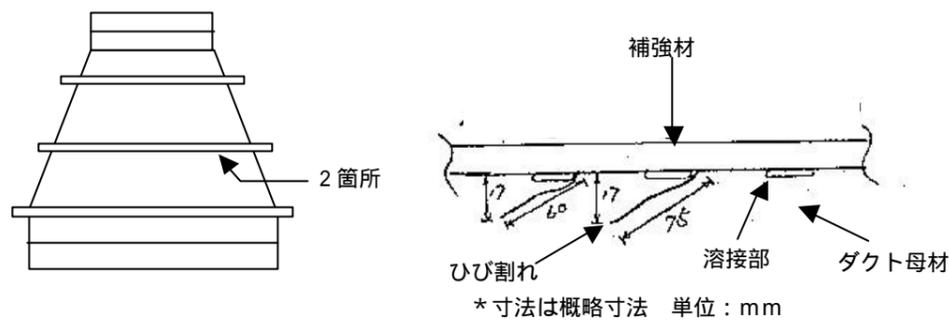
ひび割れ状況図



仕様

1号機主排気筒
 地上高さ 57.6m
 (標高高さ67.6m)
 内径(頂部) 2.7×1.5m
 内径(脚部) 1.7×2.5m
 材料 ステンレス鋼
 厚さ 2.0mm

ひび割れ状況図



泊発電所 1号機 非常用排気筒のひび割れ状況



<用語解説>

非常用排気筒

事故時に安全補機室およびアニュラス部の空気を、フィルタを通して安全補機室空気浄化ファンおよびアニュラス空気浄化ファンで集め、非常用排気筒ガスモニタで監視しながら放出する際の排気筒。

安全補機室

非常用炉心冷却設備等（高圧注入ポンプ、格納容器スプレイポンプ等）を設置している部屋。

アニュラス部

原子炉格納容器とその外側のコンクリート製の外部しゃへいとの間の空間のうち、アニュラスシールより下部の配管等が貫通する密閉された空間。